

日本の「ものづくり」を支える先端産業

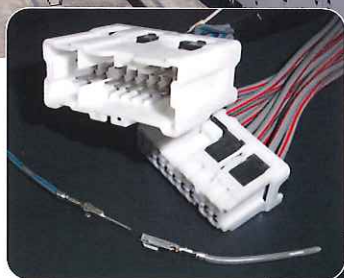
「高機能な非鉄金属」が生み出す日本の競争力

非鉄金属産業 講演・見学会

このたび、非鉄金属産業（非鉄金属ネットワーク協議会）では経済産業省、学会等の協力を得て、「最先端の高機能な非鉄金属」として国際競争力を有している産業に興味・関心をお持ちの大学生・院生の皆様を対象に、以下のとおり講演会・工場見学会を開催いたします（1年生から博士まで、大学生・院生であれば理系・文系誰でも参加できます）。

行政の責任者、最前線で活躍している研究者、産業界の第一人者等の生の声により、我が国の非鉄金属産業について理解を深めるチャンスです。この機会に、是非ご参加ください。

大学生・
院生対象



超伝導リニア LO 系
提供(協力)JR 東海

自動車用端子コネクタ



ロケットエンジン
JAXA 筑波宇宙センターで撮影

日 時

2014年10月14日(火)

9時30分～17時30分頃

講演会

①時間・会場

9時30分～11時40分（9時20分までに集合）

公益社団法人国民會館武藤記念ホール

〒540-0008 大阪市中央区大手前2-1-2 国民會館住友生命ビル12階

地下鉄天満橋駅下車 3 番出口徒歩6分

TEL:06-6941-2433 (<http://www.kokuminkaikan.jp/access/index.html>参照)

②テーマ・講師

- 1) 「非鉄金属産業の現状と国際競争力強化に向けて」
経済産業省 製造産業局 非鉄金属課長 井上 幹邦氏
- 2) 「巨大ひずみ加工法による新機能・高強度材料の開発」
豊橋技術科学大学 機械工学系 教授 三浦 博己氏
- 3) 「伸銅品が支える高機能製品」
古河電気工業株式会社 執行役員 銅条・高機能材事業部門長
小林 敬一氏

工場見学会

13時30分～16時30分（JR大阪駅17時30分頃解散）

三菱伸銅株式会社 三宝製作所

交流会

工場見学会の一環として行ないます。製造や設計、開発に携わる社員との交流により、素材メーカーの面白さを感じて頂けるものと思います。

参加費用

無料（昼食、移動費用含む）

定員

先着50名

申込方法

<http://copper-brass.gr.jp/moushikomi7.doc>にあるフォームからEメールまたはFAXにてお申し込み下さい。先着順の受付と致します。後日、登録されたEメールアドレスへご連絡します。
申し込み先メールアドレス：moushikomi7@copper-brass.gr.jp

締切り

2014年10月3日(金)17時（但し、定員に達し次第締め切ります）

問合わせ先

一般社団法人日本伸銅協会 関西事務所 一箭（いちや）、廣瀬（ひろせ）
TEL：06-4800-8639 FAX：06-4800-8641

主催：非鉄金属ネットワーク協議会（下記7団体）

- 一般社団法人日本伸銅協会
- 一般社団法人日本アルミニウム協会
- 一般社団法人日本アルミニウム合金協会
- 一般社団法人日本チタン協会
- 一般社団法人日本マグネシウム協会
- 一般社団法人新金属協会
- 一般社団法人日本電線工業会

共催：経済産業省

事務局：一般社団法人日本伸銅協会

一般社団法人日本アルミニウム合金協会



井上 幹邦氏

経済産業省 製造産業局
非鉄金属課長

▶ 講演概要

私たちの生活を支える、個性豊かな非鉄金属（レアメタル含む）について、その特性と役割をわかりやすく説明するとともに、日本の素材産業の強みとその源泉を紹介いたします。また、ナノテクノロジーや材料技術に関する最先端の事例を紹介し、産業における非鉄金属の重要性について解説します。さらに、経済産業省での取り組みを紹介し、非鉄金属産業の可能性と将来への期待についてお話しします。

▶ プロフィール

通産省入省（資源エネルギー庁石油部開発課）後、資源エネルギー庁長官官房鉱業課長補佐、中小企業庁経営支援部商業課長補佐、中小企業庁経営支援部商業課長補佐、製造産業局希有金属室長、石油天然ガス・金属鉱物資源機構金属企画部長などを経て、平成26年7月より現職。



三浦 博己氏

豊橋技術科学大学
機械工学系 教授

▶ 講演概要

日本の工業製品には多種多様な金属・合金が使われているが、諸外国の技術的な追い上げが厳しく、様々な分野で新機能材料が求められています。私達は、金属・合金に対し組織制御法、特に多軸鍛造法を用いて結晶粒を超微細化し、高強度化・高機能化を行っています。その例について説明します。

▶ プロフィール

平成元年3月東京工業大学を修了後、電気通信大学助手、准教授等を経て、平成24年より豊橋技術科学大学 機械工学系 教授となる。動的再結晶を利用した組織制御を出発点とし、それを巨大ひずみ加工法を利用した超微細粒組織の形成と高強度化に関する研究に発展させ取り組んでいる。日本銅学会企画運営委員。



小林 敬一氏

古河電気工業株式会社
執行役員
銅条・高機能材事業部門長

▶ 講演概要

人類最古の金属と言われる銅は、金と並ぶ有色金属で、導電率・熱伝導率・加工性・耐食性・抗菌性に優れます。その塑性加工品（伸銅品）は、古くは建材・鍋釜・給水管等に利用され、最近では電子電気機器に不可欠な材料となっています。各種伸銅品と、その高機能化への取り組みを紹介いたします。

▶ プロフィール

昭和60年に古河電気工業株式会社に入社し、銅および銅合金の製造プロセスに関する研究開発に従事。日光伸銅工場製造部長、原価低減推進部長、巻線事業部長を歴任し、平成26年2月から銅条・高機能材事業部門長を務める。

見学会場概要（三菱伸銅株式会社 三宝製作所）

〈見学内容〉

- 条工場：最先端の電子機器等に使用される最新の銅および銅合金の製造工程（圧延および焼鈍）を見学します。
- 若手社員との交流会では、製造や設計、開発に携わる社員との交流により、素材メーカーの面白さを感じて頂けるものと思います。

〈工場概要〉

三菱伸銅は、東西2拠点に生産拠点を有する伸銅品専門のトップメーカーです。西のマザープラントである三宝製作所（大阪・堺）では、銅および銅合金の板・条・棒を中心に製造しています。今回は主力品目の板・条製品の生産工程を中心に見学します。

